

ときがっながる! あんずの丘 周辺コース

～四季が香り、歴史が息づいています～
ANZUNOOKA COURSE



雨があがって虫工が出た!!
昔と今、心ビビを結ぶ
ふるりの架け橋

山鹿 フットパス

約3.6km
所要時間:80分
高低差約:46m



- 目印 ●
- 見どころ ●
- ビューポイント [P]
- 駐車場 P
- トイレ トイレ
- 裏に解説あり [1]~[8]
- ロングコース - - - - -

およそ100m

山鹿 フットパス

あんずの丘周辺コース

約3.8km

所要時間:80分

高低差約:46m



フットパス (foot path) とは

フットパスとは【foot=歩く】【path=小径】のこと。積極的に歩くことを楽しんでいるイギリスが発祥です。昔から地域に残るありのままの風景の中を、ゆっくりと心と体で感じながら歩きます。歩くことで見えてくるご当地ならではの風景や、地元の人との触れあいが、フットパスの楽しみ方です。マップ片手にGO!

ねこのアドバイス

- ★コースにはロングコースもあるよ!
- ★駐車場はあんずの丘を利用してね!
- ★トイレはあんずの丘等を利用してね!
- ★雨天時の未舗装の農道は足元が悪くなるので注意してね!



制作・発行:山鹿もてなしたい 090-8947-4950(山本)

山鹿和栗スイーツのお店

① おやつ工房「杏」(あんずの丘内) **スタート** **ゴール**



おやつ工房「杏」は「あんず」をはじめ、九州一の生産量を誇る山鹿市の栗にちなんで「山鹿和栗スイーツ」など、地元の豊かな農産物に恵まれた「山鹿市ならではのスイーツ」を提供しています。周囲は、豊かな自然とのどかな農村地帯に囲まれた山鹿市特産工芸村「あん

ずの丘」として、地元の農産物や加工品を販売する直売所、大型遊具のある公園、陶芸や押花などの体験施設、郷土料理のお店などがある複合型観光施設です。敷地内には約800本の「あんず」が植えられており、毎年3月上旬に花を咲かせ、6月上旬に実がなります。



営業時間/10:00~17:00
定休日/第2・4火曜
お問合せ/0968-48-4648

九州一の生産量。味は日本一!!

② 山鹿の栗

山鹿市は九州一の生産量を誇る産地。8月下旬から10月上旬頃にかけて収穫され、品種は利平、銀寄、筑波などで、近年では新品種ぼろたんの生産も始まりました。特に菊鹿地域は古くから栗の栽培が盛んで、山鹿市の約7割の生産量を誇っています。加工品の開発など、地域一体となり山鹿の栗をPRする動きが山鹿市全体にも広がりつつあります。



原口針水(はらぐちしんすい)の生家

③ 光照寺

明治維新の偉大な学僧、原口針水の生家で知られ、慶長元年の開基。針水はこの地にあった学寮「累世巒(るいせいこう)」で後進の指導にあたり、その後、現・龍谷大学学長に就任。寺の外壁の横線は、格式を表しています。



弁財天様がいらっしやいます

⑤ 島田ふれあい公園

「弁財天」は、弁舌・学問・音楽の神様といわれています。本尊が鳥居を背負っているのは、神仏習合による庶民信仰を表すものとされており、江戸時代にはこの地に造り酒屋があったと伝えられ、酒造り、酒造の守り神として祀られたものともいわれています。



これが熊本最古の石橋です

④ 日渡洞口橋(ひわたしどうくわばし)

天明前後(1780年頃)、下内田の石工仁平によって架けられたもので県内の石橋では最古のものといわれています。架け方もリブアーチ式と呼ばれる珍しいもので、この洞口橋は阿蘇郡長陽村に黒川眼鏡橋を架けるための試作的な意味で造られたものといわれています。平成5年この地に復元されました。すぐ傍に、元々の洞口橋の輪石の一部が残っています。



人々の暮らしと共に

⑥ 山の井の六地藏 ⑦ 下永野の六地藏

六地藏とは、六道(地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上)のそれぞれがあり、衆生の苦悩を救済する地藏菩薩のことで、柱の中に6人のお地藏様が彫られています。山鹿市内にある黒蛭六地藏、相良六地藏、年山六地藏、太田六地藏は、石工仁平の作と伝えられています。コースには2箇所あり、山の井の六地藏は仁平の長男金七の作とされ、地域の守り尊となっています。



地元が誇る戦国の雄

⑧ 隈部親永公(くまべちかなが)

県内の武士像としては最大級の銅像。親永公は16世紀後半、肥後北部の山鹿・菊池地方を治めた国人(国衆)で、1587年に勃発した肥後国衆一揆の中心人物としても知られています。近くには隈部氏の居城で、現在、国指定史跡である隈部氏館跡があります。

